

広島・長崎に原爆が投下され74年目の夏を迎えます。核兵器により夢と希望を持って生きていた人たちの命が一瞬にして消え去りました。この悲しさや苦しみを決して忘れてはなりません。

国民の大半が先の大戦の惨禍を経験していない世代となった今、これまで以上に戦争の悲惨さや平和への願いを後世へ語り継いでいくことが私たちの責務であります。

当市におきましては、平成17年に市議会において「非核平和自治体宣言」を決議し、平和に関する取り組みを推進してまいりました。

これからも、平和首長会議や被爆地の広島・長崎と力を合わせて歩み、核兵器の廃絶と世界の恒久平和が実現することを切に願い、平和行政を推進していきたいと思っております。

佐賀県小城市長 江里口 秀次